



精神科看護管理ニュース

Vol. **21**

発行 日本精神科看護協会

2016/03/08

Webアンケート調査の仕組みを導入しました

本協会では、このたびWebアンケート調査の仕組みを導入いたしました。

看護管理者の皆様をはじめ会員の皆様方のご意見をもとに、臨床の課題やニーズを把握して、政策提言、教育研修事業、広報事業（『ナースング・スター』、ホームページ）などの企画検討に役立てていきたいと思っております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

精神科医療における「退院支援」に関するWebアンケート調査にご協力ください

精神科病院の構造改革により、長期入院患者の地域移行、新規入院患者の早期退院支援がさらに求められています。今後の精神科医療では、一般医療と同等に地域で安心して暮らせるための医療体制づくりを視野に入れ、看護者としての「退院支援」の役割・機能を発揮していくことが必要とされています。

本協会では、平成28年度の研修会事業における重点教育内容の1つに「退院支援」を位置づけて、都道府県支部と協働し退院支援に関する研修会を実施します。それに先駆けて、今年2月に全国3か所で開催した「精神科医療に求められるこれからの退院支援」研修会には、看護管理者の皆様を含め多くの会員に参加していただきました。受講者アンケートでは、以下のようなコメントが寄せられました。

- 「入院を中心とした病院運営になっていないか。（患者のことを）地域でともに生活していく人として、病棟ナースも実感できるようにしたい」
- 「これからの診療報酬改定に向けて考えていかなければ、（精神科病院が）立ち行かなくなることが理解できた」
- 「病棟スタッフには、入院時から退院支援を見据えた看護について教育する必要性を感じた」

今回、Webアンケート第1弾として、精神科医療における「退院支援」に関して、皆様のお考えや現場の課題などを伺いたいと思っております。アンケート調査の結果は『ナースング・スター』5月号特集「これからの退院支援を考える」（仮）、協会ホームページ「看護管理者の部屋」でご紹介する予定です。

精神科医療における「退院支援」に関するWebアンケート ※実施期間 3/8（火）～15（火）

<https://questant.jp/q/DISCHARGE>



QRコードからもアクセスできます

FAXの印刷品質によっては、QRコードが読み取れない場合があります。

協会HP「看護管理者の部屋」にもリンクがありますので、ご利用ください。

1/1

- 本ニュースは毎月1～2回、配信を希望された日精看会員の方々にメールかFAXでお送りしています
- 本ニュースのPDFは日精看ホームページ「看護管理者の部屋」でダウンロードできます
- 配信の中止、配信先の変更は、日精看事務局までお知らせください
- 日精看事務局 〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F tel 03-5796-7033 fax 03-5796-7034